

平成 31 年度事業概要(年度計画)

❖ 教育・研究組織

- 教職大学院の教育内容の充実のための改組（平成 32 年度）に向けた教育・研究組織の整備
- 地域共創を担う大学院研究科（修士課程）の設置（平成 32 年度）に向けた学内整備

❖ 教育改革

- 3つのポリシー（AP・CP・DP）に基づく教育改革の推進
- 教育内容・方法の質的転換（アクティブラーニングの導入拡大，FD 活動の検証と展開）
- 障害を理由とする差別解消活動の実施と，県内高等教育機関との連携強化
- 入学者選抜方法改革案（平成 33 年度入試）の策定

❖ 研究推進

- 地域の特性を活かした研究活動の推進（食，健康，再生可能エネルギー，環境，被ばく医療など）
- 異分野間の連携・融合促進と若手研究者等の支援（学術講演会，学内助成事業実施など）
- 研究基盤支援の企画・立案機能の強化（共用機器基盤センター改組）
- 研究支援機能の強化（URA 室の設置，人材の育成）

❖ 地域連携・地域貢献

- 地域創生戦略拠点（地域創生本部）の機能強化
- 地域自治体，経済界，高等教育機関等との連携，COC+事業の推進
- 附属図書館・出版会・資料館における学術的成果の地域への積極的な情報発信

❖ グローバル化

- 海外研究機関とのネットワーク拡大（教員交流プログラムの拡充，部局間交流協定校の全学展開）
- 学生の海外派遣支援の拡充（学生アンバサダーの任命による留学情報の発信など）
- 海外からの留学生の受入れ促進（居住支援，大学紹介フェアの開催など）

❖ 附属病院

- 医療安全・感染制御の対策強化
- 事業継続計画（BCP）に基づく総合防災訓練の実施
- 総合臨床教育センター（仮称）の設置
- 老朽化した病棟の新営工事着手

❖ 附属学校

- 附属学校園のガバナンス改革（管理運営体制の見直し、公募による校長の常勤化）
- 教育課題（健康教育、環境教育、インクルーシブ教育）解決に関する研究成果の地域への積極的な情報発信
- 新たな附属学校園運営制度への移行による教育実習指導体制構築

❖ 業務運営等の改善

- 大学の機能強化に対応した人事・給与体制の整備
- 組織的・計画的な人材育成（人材育成方針（研修の体系化）の見直し）
- ジェンダーバランス改善に向けた取組の強化

❖ その他

- 安心・安全なデジタルキャンパス環境の充実（情報基盤システムの更新）
- 情報セキュリティマネジメント運用体制の整備（全学情報システム管理運営組織の設置など）

❖ 戦略性が高く、意欲的な目標・計画

《放射線科学と被ばく医療教育・研究の国際拠点構築》

- 国の被ばく医療機関としての人材育成，実践的被ばく医療研究の高度化
- 放射線看護分野の確立と発展に向けた活動内容の拡充
- 放射線科学，被ばく医療に関する国際共同研究活性化，ネットワーク拡充など
- 原子力災害医療に対応する人材の育成
- 福島県浪江町復興における支援推進と情報発信

《少子高齢化等に対応した社会医学的観点からの総合的教育研究拠点の形成》

- COI 事業におけるコホート研究の連携によるビッグデータ構築と新疾患予測モデル構築
- 子どものこころの問題に関する医療的支援，教育研究活動の推進
- 健康授業及び地域健康増進活動を担う健幸リーダーの育成推進

《地域の特性を活かした持続可能な“青森型地方創生サイクル” 確立の先導》

- 地域創生戦略拠点「地域創生本部」の機能強化
- 自治体等との連携活動推進（連携推進員制度及び職員派遣研修制度の実施，包括連携協定締結など）
- 地域特性を活かした研究の実施と社会実装に向けた取組の促進